



TBSアナウンサー

長岡 杏子



すそわけも。夏には満天の星空と螢を眺め、雨の日は家族で楽器をいじりながら過ごす。そこには私の知っている誰よりも豊かな暮らしがありました。

「農作物はその土地の土、その地にふりそそぐ太陽、その地に沸き流れる水を利用して作られている。同時に水や空気を浄化し、地域特有の生態系や風景を創り出している。そしてそれが人々の癒しや教育の場ともなっています」農業はこれほどの恵みをもたらしていたんですね。

秋田の皆さま、はじめまして。TBSでアナウンサーをしています。なぜか秋田でだけ映らない局に入ってしまいました。

18歳で上京し、東京での暮らしのほうが長くなりましたが、季節ごとに母が送つてくれる荷物は故郷の匂いがいっぱいいつもほっこりさせられます。さくらんぼにりんご母の煮たいちじくにおばの梅漬け…寒くなると何度も届くきりたんぽは夫も大好きです。そしてもちろん今年も届きました、あきたこまちの新米!!

でも実は今年、初めてちょっと浮気をしたんです。一番最初に食べたのは、熊本・南阿蘇の新米。友人夫婦が作ったお米です。阿蘇の稲刈りは秋田より少し早く、我が家に新米が届いたのは9月上旬でした。

3人のやんちゃボーライズを育てながら、合鴨による無農薬米を作っている大津耕太さん、愛

梨さん夫妻は就農11年目。ドイツの大学院で環境計画について学び、帰国後、耕太さんのおじいさんの土地を引き継いで農業を始めました。ふたりとも農家の出身ではありません。

彼らと知り合ったのは数年前。母校の大学のOB会誌に取り上げられた記事にひきつけられ、すぐに連絡をとりました。残念ながらまだ阿蘇を訪ねたことはないのですが、彼らが上京する際は会いに行き、たくさんの刺激をもらっています。

「農家の豊かさを伝えたい」と、情報発信にも力を入れていて、今年はフェイスブックで田植えから収穫まで、雄大な阿蘇の景色とともに「農家の日常」をしっかりと見せてもらいました。朝日とともに働き始め、夕日が沈むまで農作業。澄んだ空気ときれいな水、自分の手で育てたお米や旬の野菜が並ぶ食卓。時には近所からのお

築120年の古民家にテレビはありません。もちろんゲーム機も。「小さいときに体験できることをやりたいようになります。もちろんダイブ!! とっても気持ちよさで裸で田んぼにダイブ!! まさに野生児!! 田植え前には3人そろって裸で田んぼにダイブ!! とうても気持ちよさそう。草取りを手伝っているといつの間にかカエルや虫を追いかけ…暑い日は近くの水源で水浴びをし、そのままパンツ一丁で外でお昼ごはん。きょうも洗濯大変そうだなあなんて思いながら、毎日泥だらけで遊ぶ彼らを見ているところちらまでつい笑顔に。飼っている鶏の解体もしつかり手伝えます。「命をいただいている」その本質を自然に理解しているよう。田植えも、鎌で稲を刈るのも見事な腰つき。実際にたましいファーマーなんです。

もうひとつ。彼らのフェイスブックを通して、大切なことを教えてもらいました。それは、「農業が美しい風景を守り、豊かな生態系を維持



●ながおか・きょうこ(旧姓:畑)
横手市出身。横手高校~慶應大学卒。「関口宏のサンデーモーニング」「ブロードキャスター」など主に報道・情報系の番組を担当。現在は「JNNニュース(月~金・午前11時30分)」のキャスターなど、TBSの報道の顔として活躍中。都市と農山漁村の交流を進める国民運動「オーライ! ニッポン会議」の審査委員も務める。趣味は茶道(玉川遠州流教授)、歌舞伎・落語鑑賞など。